

Tune Chip®

Cシリーズ 取付、調整説明書

乗り心地向上等の効果が得られる基本的な貼り付け箇所としては、写真の様にAピラー、サイドシル脇、フロントジャッキアップポイント付近、Cピラー付近やリアジャッキアップポイント付近、リアメンバーです。

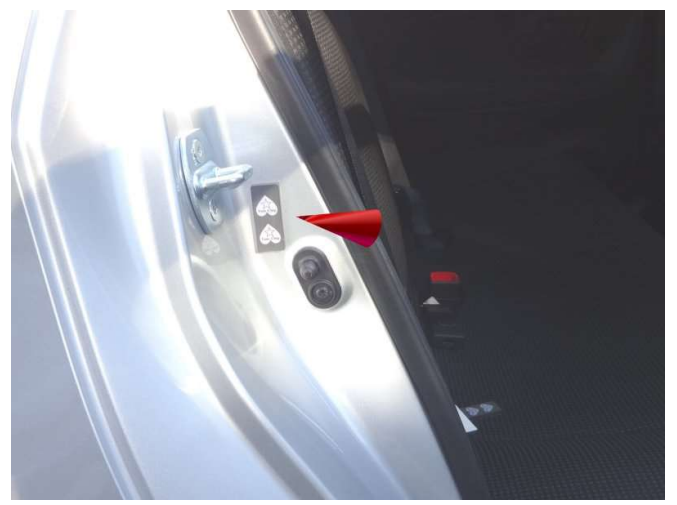
(ハートマークシールの尖がった方を上(基本)、または前方に向け、左右対象となるように装着して下さい。)

まずは、**仮装着**(磁力の吸着力のみ、または両面テープちょい剥がしでの装着がおすすめです。)して下さい。

装着位置により効果が変わりますので、**好ましいポイント**を時間をかけて、じっくり見つけて下さい。

(N局が下面(シール面が上)になるように装着して下さい。)

(高剛性車両、4輪駆動車は適正箇所に適正枚数を貼らないと効果が薄い場合があります。)



以上で、車両剛性感向上、ハンドリングの向上、コーナリング性向上、直進安定性向上、エンジンのレスポンス、吹き上がり向上、コーナリング性能向上などの効果が現れます。チップの装着自体は非常に簡単ですが、剛性感調整作業は難しいと思いますが、とても面白いので色々と装着箇所を変更するなどしてベストバランスな車のチューンを行って下さい。ベストチューニングへの近道は“トライアンドエラー”の精神です。努力は裏切りませんよ。

* フェライトタイプを並べて（並列、直列とも）装着される場合は、磁力の干渉が少なくなるように2cm以上離して装着して下さい。

* 1週間くらい経ってもゴツゴツした乗り心地になっている場合は調整不良、またはサスペンションへの影響が考えられますので、装着箇所を変更してお試し下さい。

* 本製品は磁力製品です。取り扱い、貼り付け箇所を選んで装着してください。

* エナジー封入上の問題でシミが少しある場合がありますが、製品不良（異常）ではありません。

Cシリーズの形や材質が違うのは、その無限の可能性を引き出すためです。

何万通り？も装着例は考えられますので、トライ&エラーで車と対話しながら調整を楽しんで下さいませ。

----- MEMO -----

Aピラーへの装着では、ドアヒンジ上部と中間部、下部への装着では動的重心の違いがはっきりと出ます。（10cm位でも違ってきますので調整は必須です。）

フェライトタイプは下部に装着すると乗り心地がコンフォート、上部への装着ではスポーティな乗り味となり、アルミタイプは上部に装着すると乗り心地がコンフォート、下部への装着するとスポーティな乗り味となる。

ミニバンはリアが跳ね気味な車が多いが（荷物を多く詰めるようにバネレートが高いのが原因）リアのジャッキアップポイント付近へフェライトタイプを前向きに装着したら、跳ねが抑えられた。

フロントストラットへフェライトタイプを上向きに装着すると、フロントの脚が良く動くようになり、直進安定性、アジリティが向上した。

ブレーキキャリアパーへフェライトタイプを上向きに装着したら、更にどっしり地を這うマシンになった。

〒812-0882 福岡市博多区麦野5丁目6番3号-102

E@T e c h（イーテック） <http://www.tunechip.com/>

技術担当：大原俊光

FAX電話：092-593-6816 携帯：090-3602-2564